

昭和四十年二月五日受領  
答 弁 第 三 号

(質問の 三)

内閣衆質四八第三号

昭和四十年二月五日

内閣総理大臣 佐藤 榮 作

衆議院議長 船 田 中 殿

衆議院議員山中吾郎君提出家庭教育センターの設置に関する質問に対し、別紙答弁書を送付する。

衆議院議員山中吾郎君提出家庭教育センターの設置に関する質問に対する答弁書

ご趣旨の点は重要と考えられるが、このような家庭教育センターを全国の市町村に設置することはきわめて問題が大きいので、今後じゅうぶんに検討してまいりたい。

なお、家庭教育センター設置の趣旨としてあげられている家庭教育の相談については、市町村に設置されている多くの公民館がこれを実施しているが、この点についていつそう推進したいと考える。

両親等の教育能力の向上のための学級の開設については、すでに市町村の開設する家庭教育学級に対して助成を行ない、家庭教育に関する学習の機会拡充につとめている。

また、都道府県が行なう家庭教育研究集会に助成して家庭教育ならびに家庭問題の研究を促進するとともに、文部省においては、指導者向けに家庭教育資料を作成配布してその振興に資するほか、文部省や都道府県が行なう家庭教育研究集会等の際あるいは公民館において、家庭教育資

料を展示して、家庭教育関係者、両親等の参考に供している。

右答弁する。